

山元町 うちで 内手遺跡

平成 23 年度発掘調査 現地説明会資料
平成 23 年 12 月 11 日 (日) 10:30~

[調査要項]

遺跡名 内手遺跡
所在地 亶理郡山元町浅生原字内手
調査原因 常磐自動車道建設
調査主体 宮城県教育委員会
調査担当 宮城県教育庁文化財保護課
調査協力 東日本高速道路株式会社東北支社
清水建設株式会社
山元町教育委員会
調査期間 平成 23 年 9 月 12 日
～ 12 月 15 日 (予定)
調査面積 約 4500 m²



写真① 上空から見た内手遺跡 (北方向から)

1. はじめに

山元町では常磐自動車道の山元 I C 以南の建設工事が進められています。道路建設予定地には、縄文時代から江戸時代まで各時代の遺跡が、現在までに 30 遺跡確認されています (第 1 図)。これらの遺跡の発掘調査を、宮城県教育委員会と山元町教育委員会が分担して、平成 22 年度から実施しています。

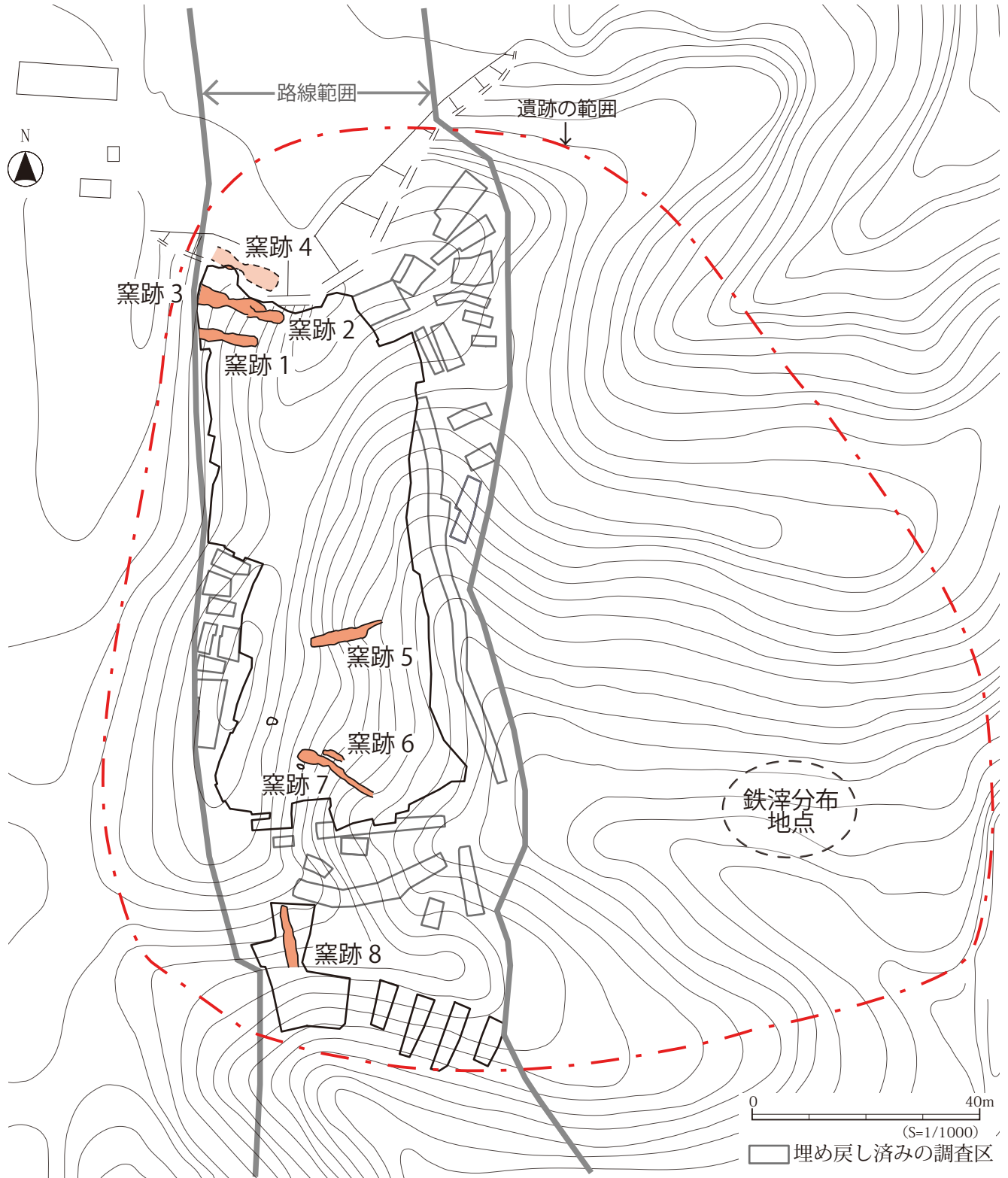
内手遺跡は標高 40m~65m の丘陵斜面にあり、東西約 150m・南北約 160m の遺跡範囲のうち、道路が建設される部分 (約 4,500 m²) を発掘調査しました。その結果、奈良時代から平安時代とみられる炭窯跡 8 基が見つかり (第 2 図)、須恵器・古銭・鉄滓などの遺物が出土しました。



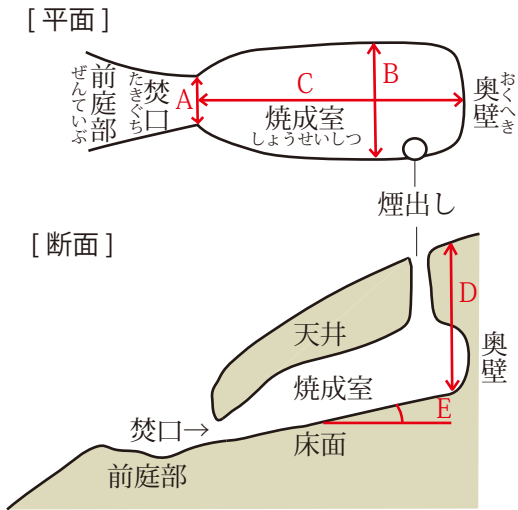
第 1 図 常磐道の路線と調査遺跡、および周辺の主な遺跡

2. 調査成果

見つかった炭窯跡は、丘陵の西側斜面に4基（炭窯跡1～4）、東側斜面に3基（同5～7）、南側斜面に1基（同8）ありました。いずれも斜面の下方から硬い砂岩の層をトンネル状に掘りこむ「ちかしきあながま地下式窖窯」です（第3,4図）。調査した炭窯跡1～7の大きさを表1に示しました。南側斜面の炭窯跡8の調査は来年実施する予定です。



第2図 調査区と発見された遺構

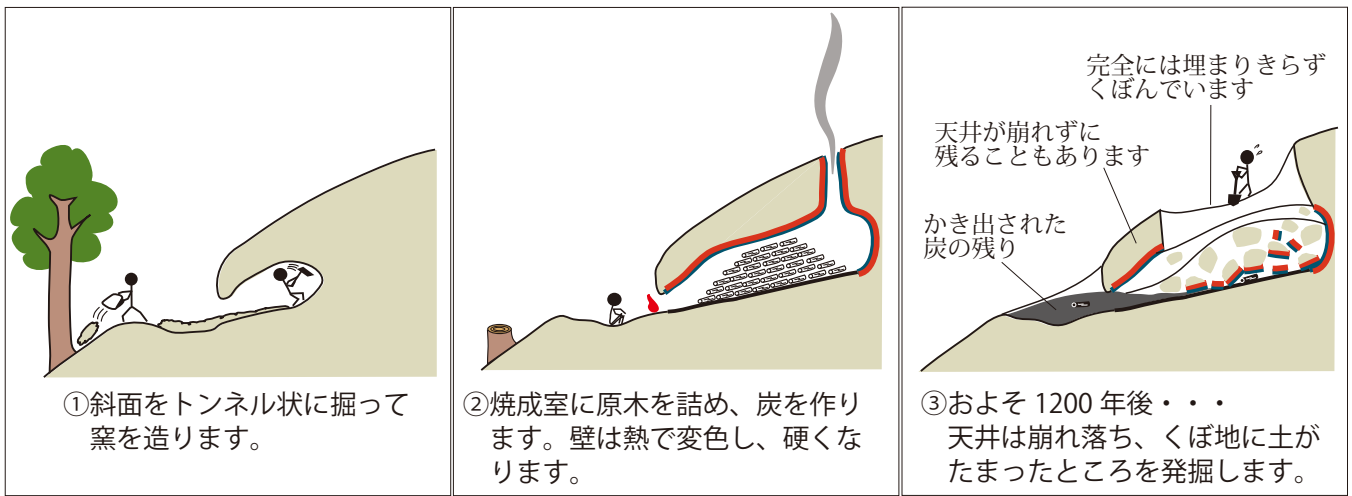


第3図 地下式窖窯の構造

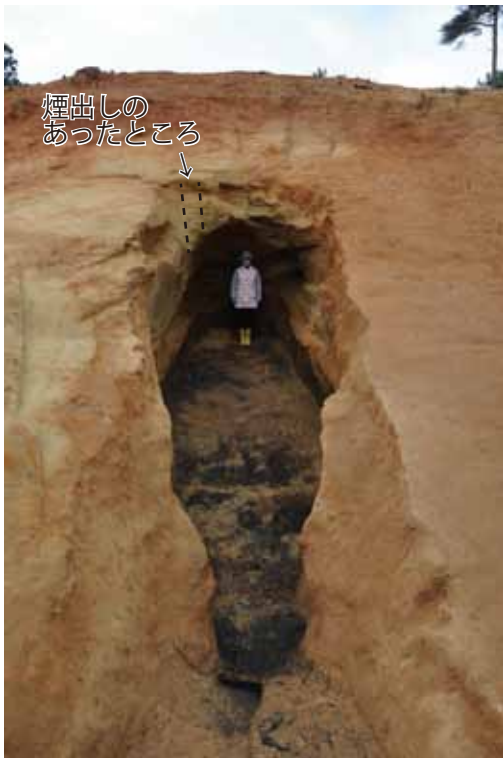
窯跡	A.焚口の幅	B.焼成室の幅	C.焼成室の長さ	D.奥壁の深さ	E.床面の斜度
1	0.7m	2.3m	7.2m	2.9m	19°
2※	0.6m	2.2m	5.3m	3.7m	7°
3	0.4m	1.9m	7.9m	-	20°
4※	-	-	-	-	-
5	0.5m	2.2m	7.2m	2.5m	14°
6	0.5m	1.2m	3.8m	1.3m	10°
7	0.6m	2.0m	6.2m	2.5m	16°

表1 調査した炭窯跡の大きさ

※2は一度使用した後に掘り直されて別の用途に転用されています。
 ※4は削られた崖面に窯跡の一部が残るだけで、大きさは不明です。



第4図 炭窯跡が発掘されるまで



写真② 炭窯跡5 (東から)



写真③ 炭窯跡3 煙出し



写真④ 炭窯跡1 出土須恵器



写真⑤ 炭窯跡2 出土古銭

「開元通寶」中国で7～10世紀に鑄造されていた貨幣です。



写真⑥ 炭窯跡 6,7 (東から)



写真⑦ 炭窯跡 6 (南から)
炭窯跡 7 が崩れた後のくぼ地を作業場として、
その脇に造られました。



写真⑧ 炭窯跡 6 奥壁
奥壁の下の排煙口から煙を出していました。



第 5 図 横口式木炭窯推定復元図
「硯沢窯跡発掘調査現地説明会資料」
(利府町教育委員会 2008) より一部改変

炭窯跡 6 は、焼成室の側面に開いた「横口」から原木の窯詰めや完成した炭の取り出しを行う「横口付木炭窯」と呼ばれる窯跡です（第 5 図）。横口付木炭窯は西日本に多く、東日本では福島県相馬地方などで見つかっていますが、県内では利府町硯沢窯跡（2 基）に続く 2 例目となりました。

3. まとめ

内手遺跡の調査では炭窯跡 8 基が見つかり、窯の形態や出土遺物から、奈良・平安時代のものと考えられます。特に、県内で 2 例目となる横口付木炭窯が見つかるなど、貴重な成果がありました。では、作られた炭は何に使われたのでしょうか？

古代の福島県相馬地方では、海辺で採れる砂鉄を用いて大規模な製鉄が行われ、大量の炭が使われていました。内手遺跡も、調査区外に鉄滓が分布している場所があるため、製鉄関連遺跡と考えられます。今回調査した丘陵付近は、製鉄の際に使用する木炭を生産した区域であり、周辺には製鉄炉や工房などがあったと推定されます。

今回の調査で、相馬の製鉄遺跡群が山元町まで広がっていたことが明らかになってきました。内手遺跡の 4～5km 南の坂元地区には、同じく製鉄遺跡とみられる影倉 B～E 遺跡があり、こちらも常磐道建設にともなう発掘調査を行う予定です。地域の歴史の解明が進むことが期待されますので、ぜひご注目ください。